

グローバル視点から考える 次世代への働きかけ

大崎 麻子

2016年3月16日

@男女共同参画推進連携会議 「次世代への働きかけ」チーム



「ユース」の問題は、世界の最優先課題

- 世界人口白書2014「18億人の力：未来を変革する若者たち」
- ✓ 若者の「政治」「経済」の意思決定からの排除
- ✓ 若者の「教育レベルの向上」と「雇用状況の悪化」
- ✓ 世代間の格差・不平等
- 適切な公共政策
- 適切な公共投資
- 若者の「意思決定過程」への参画・リーダーシップ



国連 持続可能な開発アジェンダ（2030アジェンダ）
「ユース」
「女性と女の子のエンパワーメント」

日本は？

- 超少子高齢化： 若年人口の減少
 - 大学生を取り巻く環境の厳しさ（貸与型奨学金、アルバイト）
 - 労働環境・雇用の展望の厳しさ
 - 若年の自殺の増加（「生きづらさ」）
- 政治・経済の意思決定からの排除
- 同世代の中でも、格差・不平等（教育、体験、文化的資本）
- グローバル化・IT化による、「職種」「働き方」「スキル」の急速な変化



「高度経済成長期の男性稼ぎ主モデルからの脱却」
「ジェンダー平等と女の子のエンパワーメント」

次世代への働きかけ

ジェンダー平等 & 女性のエンパワーメント

ジェンダー平等

男性と女性が**等しく権利、機会、責任**を持ち、**意思決定**にも対等に参画する

女性のエンパワーメント

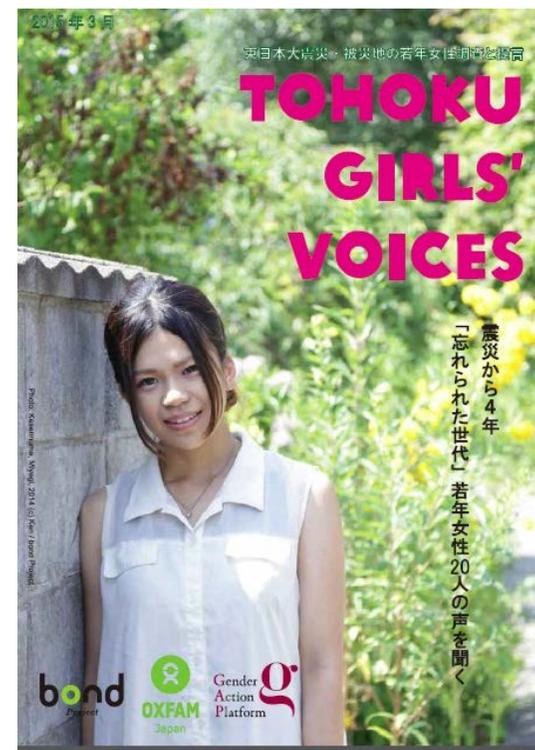
- ◆ 人生や日常生活におけるあらゆる選択肢を**自分の意思**で選び取って生きていくための力をつけること
- ◆ 男性と対等に**意思決定に参加**するために必要な力を身につけること。

東日本大震災の経験から見えてきたこと 「若年女性調査」

社会調査 「Tohoku Girls' Voices」

若年女性 20人、支援者7人へのインタビューと既存文書をもとに社会調査を実施

- ・インタビュー実施：BONDプロジェクト、オックスファム・ジャパン(OJ)、Gender Action Platform(GAP)、東京大学社会学研究所特任研究員
- ・皆川満寿美
- ・分析・執筆：GAP、皆川、OJ
- ・編集協力：経済ジャーナリスト 治部れんげ



若年女性の支援ネットワークの強化

若年女性の課題を共有し、関連団体の連携を強化し、支援の輪を広げる

当事業実施過程で東北の女性支援団体とBONDプロジェクトが連携強化

若年女性支援において十分な体制が整っていない現状を受け、現在、岩手県・宮城県・福島県にて、その地の支援団体と一緒に若年女性支援強化のための支援者養成講座、オープンセミナー、パトロール等を実施している。



分析の方法

対象者の分類:「レジリエンス度」の高さ

- ① 「自己の人生設計」にビジョンがあり、なおかつ「社会的な視点」を有している
- ② 「自己の人生設計」にビジョンがある
- ③ 漠然とした「将来のイメージがある
- ④ 自分の人生・生活よりも「他者を優先」する

レジリエンス度に影響を与えた要因(災害時・前後)

- a. 状況の認識
- b. 行動力
- c. 生活環境
- d. 人生観

思春期・若年女性

- 災害直後の恐怖・不安
- 進路の変更、日常生活・学校生活に伴う不安の増大
- 自分の気持ち、意見、不安を他の人と共有する場が無い
- 「若い人」が軽んじられている
- 経済的に脆弱な状況が選択肢を狭める

支援者・支援団体

- 我慢し、ストレスをため込んでいる
- 支援基盤・相談場所が乏しい
- 自尊感情・自己決定力が育っていない
- リプロの知識と意識が無い
- 地元で若い人が活躍する場が限られている
- 要望・気持ちを伝えたり、権利を主張するのが難しい環境

まとめ 若年女性特有の「脆弱性」

思春期・若年女性

- 信頼できる人たちとの繋がり
- インターネット・携帯の活用

⇓

- 新たな人間関係
- 社会的な視点
- キャリア形成へのビジョン
- 地元復興に貢献したいという意欲

支援者・支援団体

- 少し年上の女性たちとの出会い・繋がり
- 自分の周りだけで完結していない

⇓ (支援をした学生・支援を受けた学生)

- 長期的な視点の獲得
- 新たな価値観の形成
- 尊厳・プライドを持ちなおす
- 地元に残って貢献したいと前向きに

まとめ 若年女性特有の「レジリエンス」

提言

- ① 思春期・若年女性の問題の可視化・政策課題化⇒見えるようにする！課題にする！
- ② 地域の復興及び地方創生における若年女性の参画の推進⇒ 声を聞く、声を反映させる！
- ③ 思春期・若年女性のエンパワーメント（自己決定能力の向上）⇒自己肯定感、心と体の健康、適切なリプロ・性の知識、他者との繋がりを！

ジェンダー平等/男女共同参画 「権利」「機会」「責任」を分かち合う

- 「生きづらさ」の解消（「男らしさ」「女らしさ」、セクシュアリティ、性別役割分担）
- 男女間の対等なパートナーシップ&意思決定
- デートDV/リプロダクティブヘルス・ライツ

女の子のエンパワーメント ～自己決定する力～

1. 健康な心と身体（リプロ）
 2. 知識・リテラシー（法律、メディア等）
 3. 経済力
 4. 社会・政治への参画
- +
- リーダーシップ
 - STEM
 - 脆弱性の高い女の子



男女共同参画に向けた、次世代への働きかけ
～課題～

ジェンダー平等/男女共同参画
「権利」「機会」「責任」を分かち合う

- 意識啓発・教育（リプロ、ジェンダー）
- ピア・エデュケーション（ロールモデル）
- キャンペーン（ロールモデル）

女の子のエンパワーメント
～自己決定する力～

- エンパワーメント・プログラム
- リーダーシップ研修
- STEM教育
- 脆弱性の高い女の子への支援

男女共同参画に向けた、次世代への働きかけ
～取組～

Because I am a Girl THE STATE OF THE WORLD'S GIRLS 2011

"We all suffer when women and girls are abused and their needs are neglected. By denying them security and opportunity we embed injustices in our societies and fail to make the most of the talents of half the population. In too many countries we talk about democracy and deny the rights of women and girls. I call on all men and boys to throw their weight behind the campaign for equality."

President Cardoso
Former President of Brazil and a member of The Elders

"I remember the first time someone suggested to me that work around gender was something men could do. It came as quite a surprise. Like 'What?' It always thought that was simply the domain of women, and perhaps I've even been defensive. But since it became clear that, no, this is, in fact, something that I can do and that I'm welcomed in doing, that was very helpful."

South African Men

"This report brings us new insights and the latest research on a key component to reaching girls – namely, reaching boys and men as allies. The analysis and recommendations are thorough and clear, as is the call to action. Most importantly, Plan asks the difficult questions about how to engage men and boys without losing sight of the end goal of gender equality."

Gary Barber
Instituto Promovendo

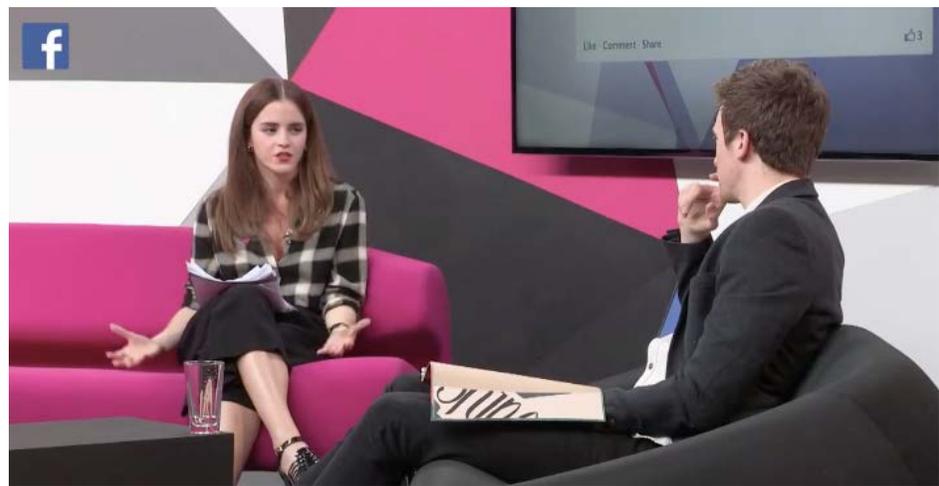
"By exploring the roles of men and boys in advancing gender equality, Plan's prestigious 'Because I am a Girl' annual report is boldly changing the paradigms. From why should we work with men and boys, to how do we do it effectively. With this report, many more initiatives may benefit from the information here, inspiring, activating and informing the many positive roles men and boys can play in working towards a better world for us all."

Todd Minneris, Executive Director
White Ribbon Campaign

plan-international.org/girls
Tel: +91 980 9090 41

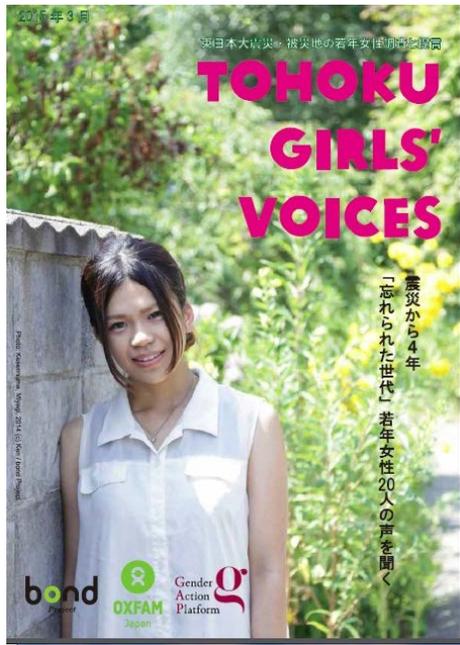
Plan Members of a joint group with Baid

Because I am a Girl
THE STATE OF THE WORLD'S GIRLS 2011
So, what about boys?



ジェンダー平等/男女共同参画





意識啓発・キャンペーン





GIRL
Meets
GIRL
College



5/19 開校!



国際協力
NGO
ジョイセフ



エンパワーメント
&
リーダーシップ

UNITAR

